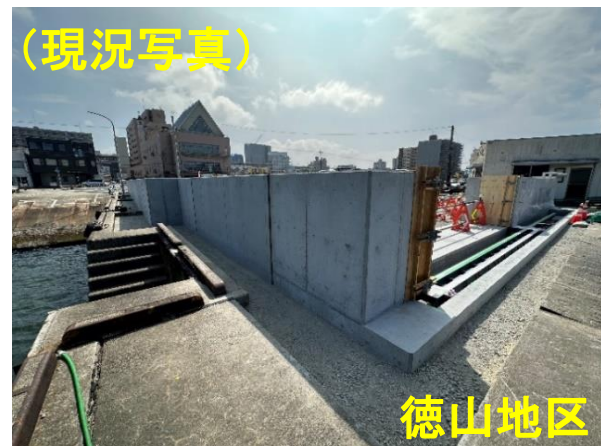
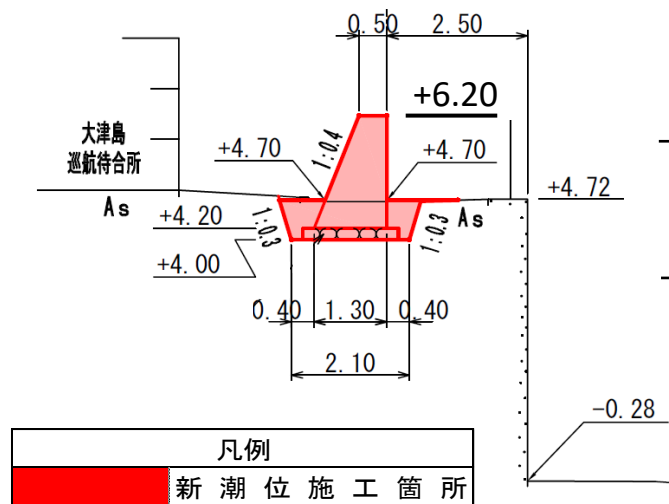
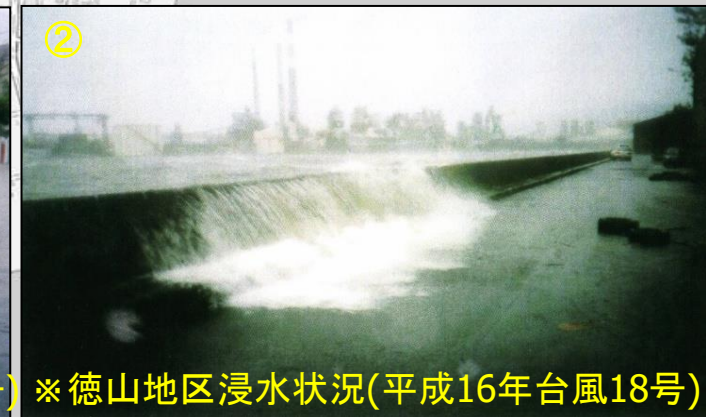


再評価項目調書

再評価実施要件		○ 事業採択後 () 年 ● 再評価後 (5 年) ○ その他 ()					
1 事業 概要	事業名	徳山下松港 徳山地区 大島・ ^{すくじま} 裕島地区 下松地区 笠戸島地区 光地区 海岸高潮対策事業					
	事業場所	周南市入船町 ^{すくじま} ～裕島 下松市東豊井～笠戸島 光市虹ヶ浜～光井					
	事業主体	山口県					
	事業期間	《 前回評価 平成 30 年時 》 昭和 61 年度 ~ 令和 14 年度 《 令和 9 年度 》 (西暦 1986 年度 ~ 西暦 2032 年度 《 西暦 2027 年度 》)					
	総事業費 (内用地補償費)	《 16,442 百万円 》 17,432 百万円 (一 百万円)	既投資額 (内用地補償費)	16,136 百万円 (一 百万円)	進捗率 (用地補償費)	93 % (%)	
	事業目的	<p>徳山下松港は、瀬戸内海西部に位置し、周南市、下松市及び光市にまたがる広い港湾区域を有する国際拠点港湾である。</p> <p>当港の海岸保全施設は、昭和30年代から50年代に整備されたものが多く、施設の老朽化が著しい。また、当地区の背後地には、周南コンビナートや市街地が形成され、企業や人口が集中しているにもかかわらず、天端高の不足等により防護機能が確保できていないため、台風時には民家、道路等が越波による浸水被害に見まわられている。</p> <p>このため、一連の防護ラインを構築することにより、高潮時の越波による浸水被害を軽減し、背後地の人命・財産を防護する。</p>					
事業内容	<p>○徳山地区 : 護岸(改良)L=1,589m, 胸壁(改良)L=1,725m, 胸壁(新設)L=450m 排水施設(改良)1式, 排水施設1式, 水門(改良)1基</p> <p>○大島・裕島地区 : 護岸(改良)L=750m, 護岸(消波)L=1,162m, 離岸堤L=861m</p> <p>○下松地区 : 護岸(改良)L=420m, 離岸堤(改良)L=420m</p> <p>○笠戸島地区 : 護岸(改良)L=3,110m, 護岸(消波)L=897m, 突堤1基, 護岸(補強)L=145m, 胸壁(改良)L=250m</p> <p>○光地区 : 堤防L=400m, 護岸(改良)L=749m, 胸壁(新設)L=1,475m, 胸壁(改良)L=581m, 樋門3基</p> <p>設計高潮位 : C.D.L+5.45m~5.76m</p>						
事業効果	<p>平成11年台風18号級の台風が最も大きな被害を発生させる経路を通過した際の浸水被害想定</p> <p>浸水戸数 1,765戸 → 0戸 浸水面積 311ha → 0ha</p> <p>平成11年台風18号が来襲した際の浸水被害実績</p> <p>浸水戸数 195戸 → 0戸 浸水面積 50ha → 0ha</p>						
2 再評価の 視点	(1) 社会経済情勢の変化	<p>浸水想定区域内の指標について、前回評価時から概ね横ばいで推移しており、背後地には住居や産業施設、公共交通機関の旅客施設等があることから高潮対策の必要性は依然として高い。</p> <p>【浸水想定区域内の指標の変化(国勢調査)】</p> <p>《周南市(栗屋ほか)・下松市(東豊井ほか)・光市(光井ほか)》</p> <p>○人 □ : 0.99倍 (31,317人/31,779人) <R2/H27> ○世帯数 : 1.05倍 (15,159世帯/14,391世帯) <R2/H27></p> <p>《参考: 県全体》</p> <p>○人 □ : 0.96倍 (1,343千人/1,405千人) <R2/H27> ○世帯数 : 1.00倍 (597千世帯/599千世帯) <R2/H27></p>				中項目 評価	大項目 評価
	関係市町及び地元の意向	<p>当地区における海岸保全施設の整備は、周南市・下松市・光市の地域防災計画に市域保全と市民生活の安定上極めて重要であると位置付けられている。</p> <p>また、地元住民は、自主防災組織を設立するなど、高潮に対する防災・関心度が高く、高潮対策事業の推進に協力的である。</p>				中項目 評価	大項目 評価

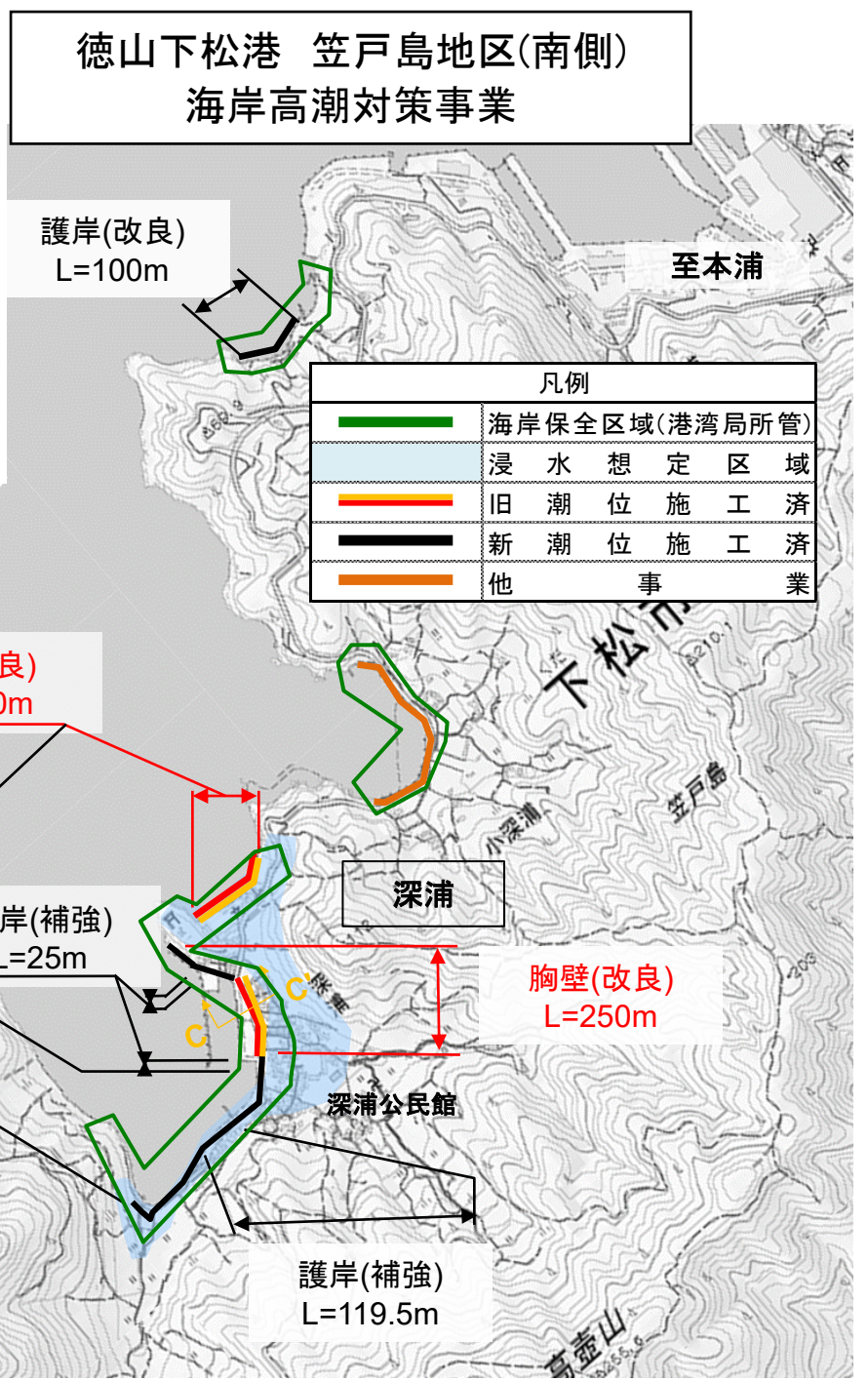
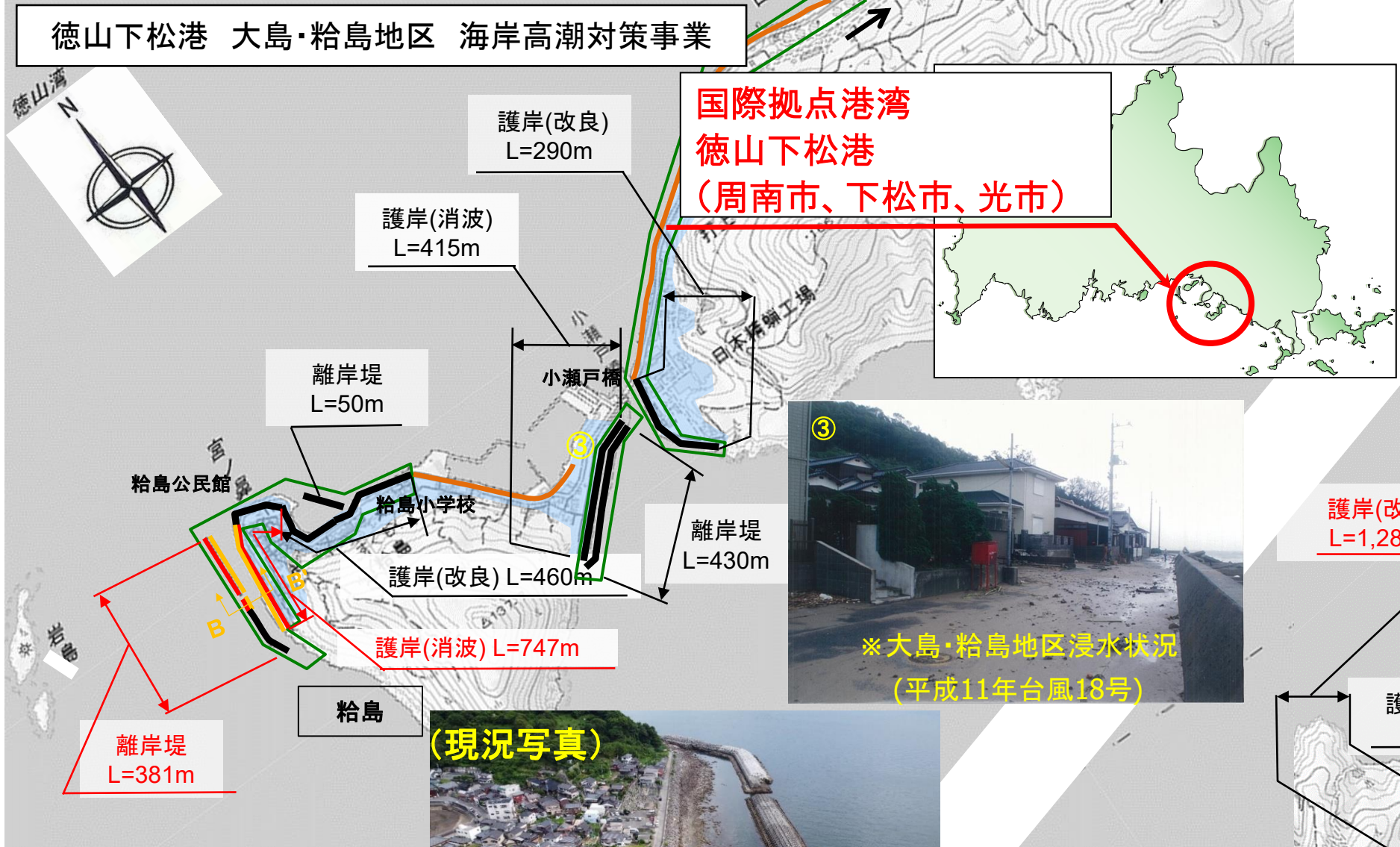
		(単位:百万円)				大項目 評 価	
区分	主な項目	前 回 (基準年: H30)	今 回(再評価・再々評価) (基準年: R5)		備 考		
		全体事業	全体事業	残事業			
便益 (B)	①一般資産被害軽減便益	213,051	347,200	166,310		Ⓐ ・ B ・ C	
	②公共土木施設被害軽減便益	383,491	624,959	299,357			
	③公益事業等被害軽減便益	639	10,416	4,989			
	総便益	602,933	982,575	470,656			
費用 (C)	①事業費	31,710	45,662	987			
	②維持管理費	1,556	1,717	787			
	総費用	33,266	47,379	1,775			
費用便益比 (B/C)		18.1	20.7	265.2			
※上表は現在価値化後の数値を記載							
<p>【参考】 貨幣価値化困難な便益: 人的被害および災害による精神的被害の軽減効果</p> <p>【費用対効果分析手法】</p> <p>○根拠マニュアル 海岸事業の費用便益分析指針(改訂版)(令和2年4月一部修正)平成16年6月/農林水産省農村振興局、農林水産省水産庁、国土交通省河川局、国土交通省港湾局とする。基準年は令和5年とする。</p> <p>【費用対効果分析における特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般資産被害軽減便益: 防護地域内に存在する一般資産(家屋、家財、事務所、農作物、農漁家)に 対する被害削減額 公共土木施設被害軽減便益: 防護地域内に存在する公共土木施設(橋、道路、公園等)に対する被害削減額 公益事業等被害軽減便益: 防護地域内に存在する公益事業等(電気、ガス、水道等)に対する被害削減額 							
2 再評価の視点	(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	<p>○徳山地区 護岸・胸壁等L=3,764mの内、令和5年度までにL=3,184mの整備が完了している。</p> <p>○大島・裕島地区 護岸・離岸堤等L=2,773mの内、令和5年度までにL=2,260mの整備が完了している。</p> <p>○下松地区 護岸・離岸堤等L=840m、全ての整備が完了している。</p> <p>○笠戸島地区 護岸・胸壁等L=4,402mの内、令和5年度までにL=3,488mの整備が完了している。</p> <p>○光地区 堤防・護岸等L=3,205m、全ての整備が完了している。 残工事において、現地状況に応じた高潮対策となるよう精査を行いながら、引き続き、海岸保全施設の改良等を行い、浸水被害の軽減に努める。</p>			Ⓐ ・ B ・ C	
		<p>【事業費の変化】 (有) 無</p> <p>事業費の増は、利用者調整に伴う陸間設置箇所数の増(陸間24基→27基)及び資材価格(鋼材)の高騰による。</p> <p>【事業期間の変化】 (有) 無</p> <p>陸間の統廃合に伴うフェリー関係者及び漁業関係者との調整により、事業計画工程を見直した結果、事業期間を5年延伸する。</p>					
(4) 代替案等のコスト削減の可能性	コスト削減	既設護岸等の有効活用及び消波工における新製品の活用によるコスト削減を図った。			中項目 評 価	大項目 評 価	
	代替案	既設護岸等を有効活用する当計画が経済性に優れ、かつ背後環境への影響が少ないことから、計画どおり進めることが妥当と考える。			中項目 評 価	大項目 評 価	
		Ⓐ・b	Ⓐ ・ B ・ C		Ⓐ・b		
		Ⓐ・b					
3 環境	配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> 光地区の虹ヶ浜海岸は、瀬戸内海国立公園内に位置し、白砂青松の景観を有する県内を代表する海岸であるため、擬木胸壁の使用や自生植物を保全するなど、景観・環境に配慮した海岸整備を行う。 汚濁防止対策として、海上工事に際しては、汚濁防止膜を設置する。 					
4 対応方針 (事業実施主体)	総合評価	● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止					
	評価理由	事業の必要性、費用対効果等を勘案し、事業を継続する必要がある。					
	備考						

徳山下松港 徳山地区 海岸高潮対策事業



徳山下松港 大島・粕島地区 海岸高潮対策事業

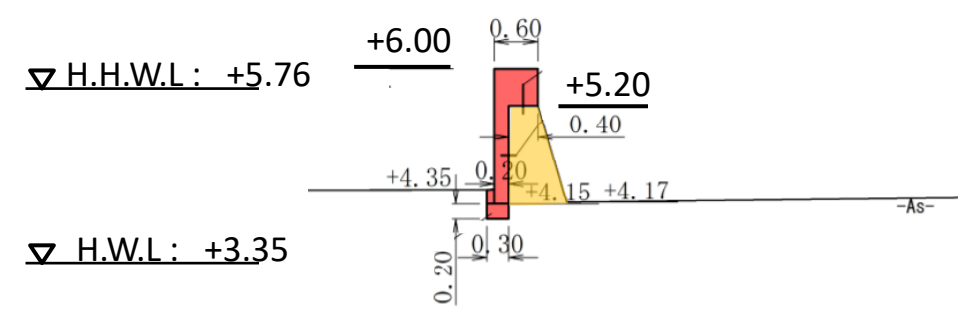
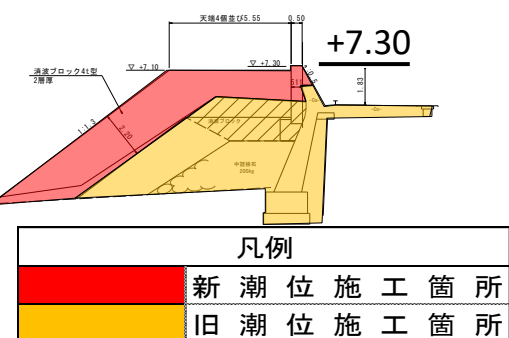
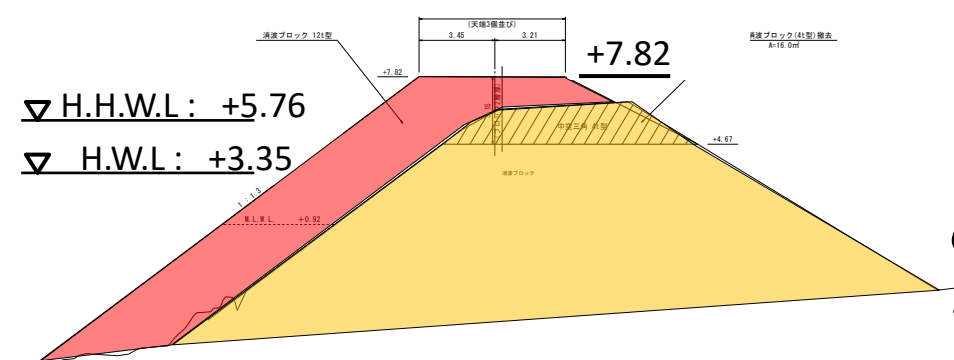
徳山下松港 笠戸島地区(南側) 海岸高潮対策事業



※この地図は、国土地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。

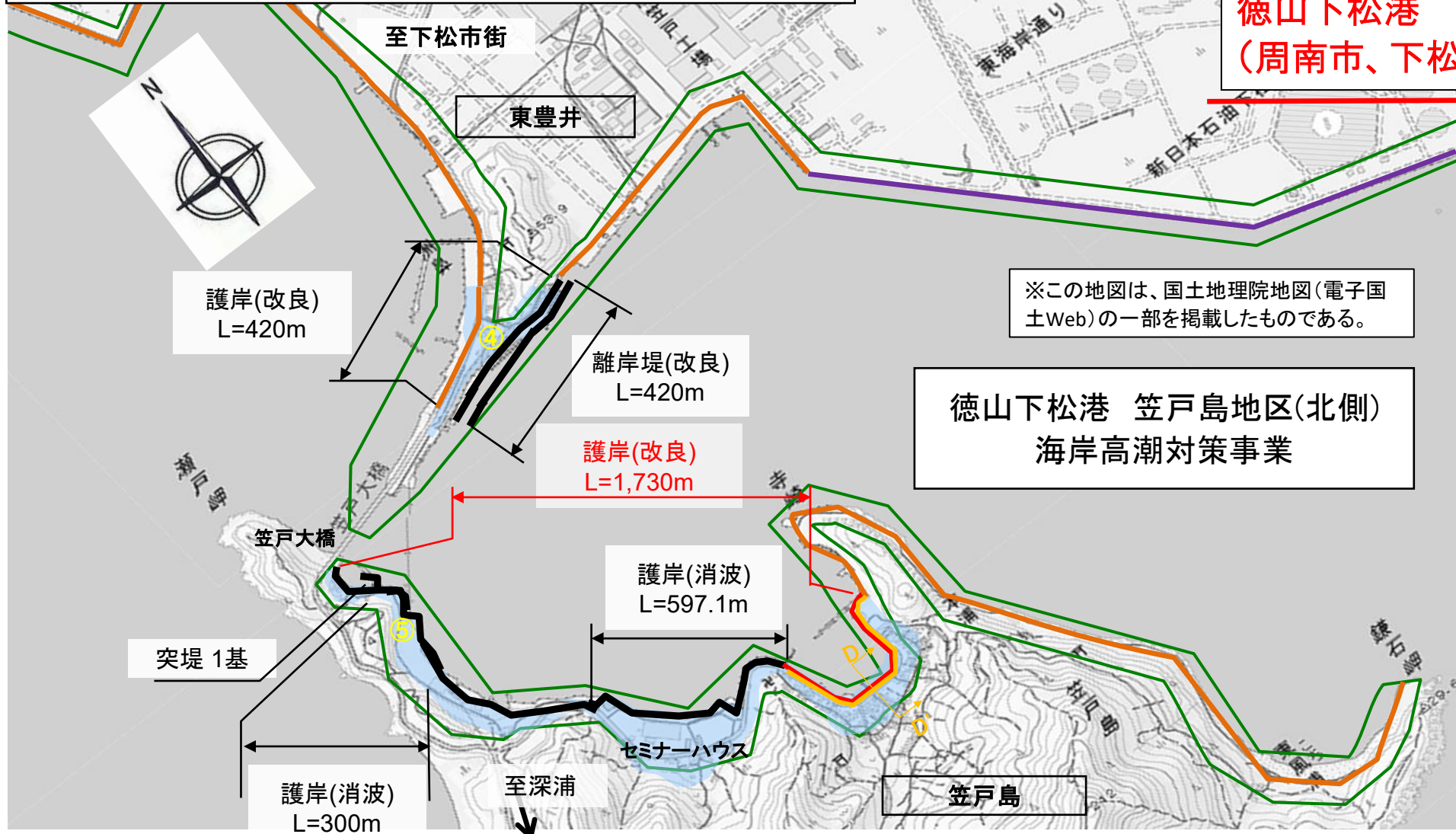
B-B'断面 離岸堤

C-C'断面 胸壁

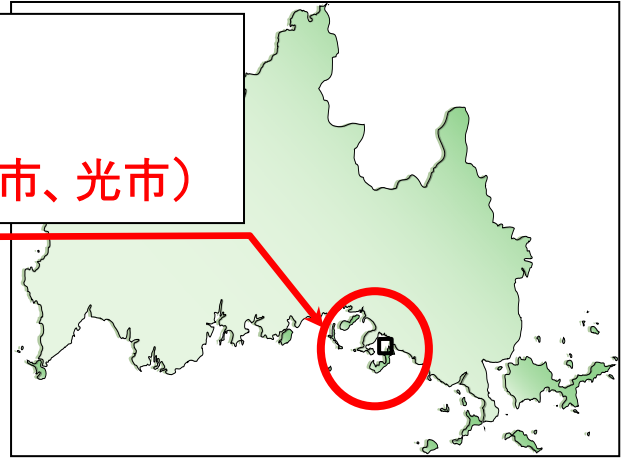


凡例	
	新潮位施工箇所
	旧潮位施工箇所

徳山下松港 下松地区 海岸高潮対策事業

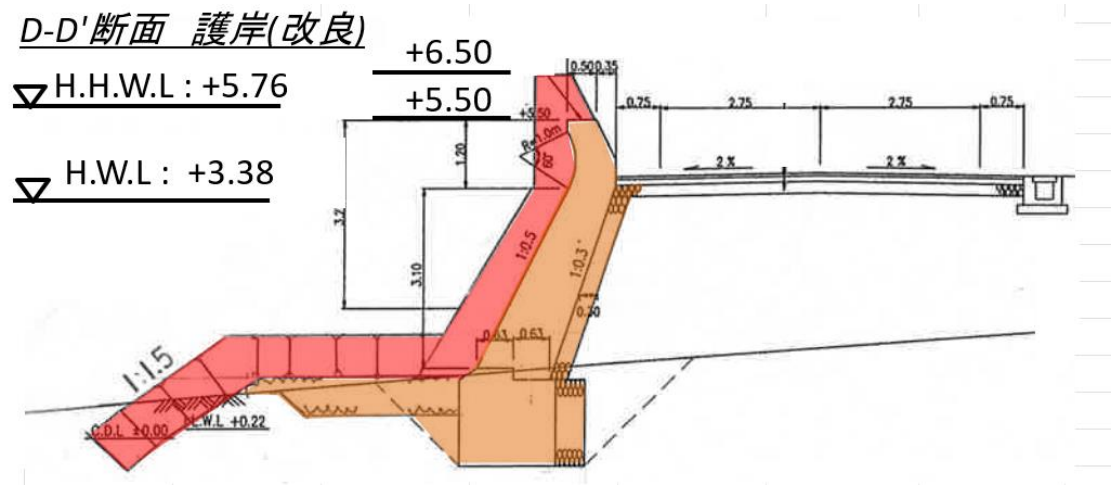
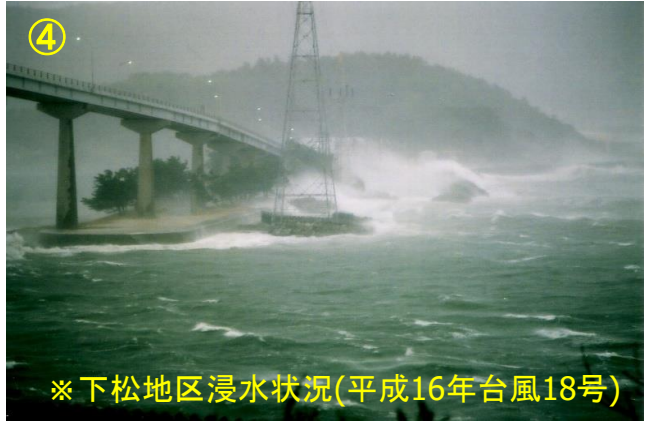


国際拠点港湾
徳山下松港
(周南市、下松市、光市)



※この地図は、国土地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。

徳山下松港 笠戸島地区(北側)
海岸高潮対策事業



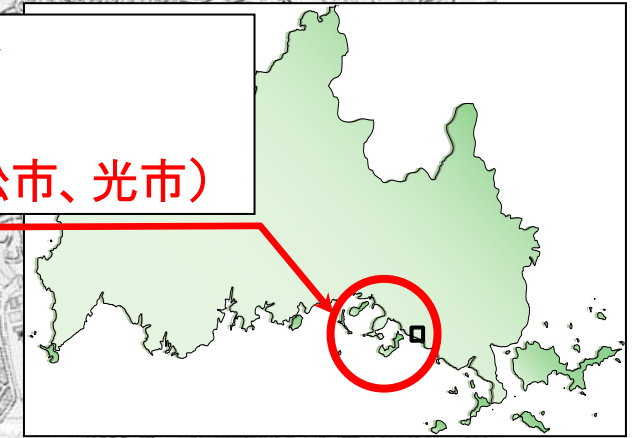
凡例	
	海岸保全区域(港湾局所管)
	浸水想定区域
	旧潮位施工済
	新潮位施工済
	他事業
	民有施設

凡例	
	新潮位施工箇所
	他事業施工箇所



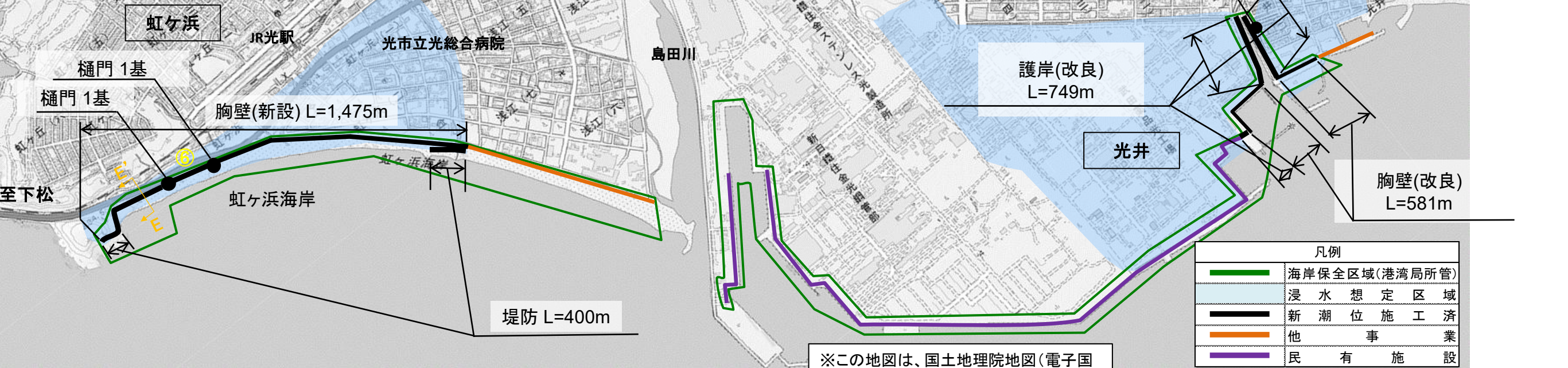
徳山下松港 海岸高潮対策事業<光地区>

国際拠点港湾
徳山下松港
(周南市、下松市、光市)



⑥

※光地区浸水状況(平成11年台風18号)



※この地図は、国土地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。

E-E'断面 胸壁

